

伏見住吉小学校 学校教育目標

「自ら学び、チャレンジし、共に伸びていく子」

～主体性・社会性を身につけ、未来を創造する子どもの育成～

めざす子ども像

すみよしの子 明るく楽しく元気に学校生活が送れる子ども

㊦ 素敵な笑顔で ㊦ みんななかよく ㊦ よく考え ㊦ しっかり学ぶ



令和7年 第1回学校評価質問紙回答より

秋分の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様、地域の皆様には様々にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、7月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果を踏まえこれまでの教育活動をふり返し、今後の改善に努めていきますので、より一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【児童】

質問項目	重要度				実現度			
	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	実現できている	ややできていない	実現できていない	わからない
学校の学習がよくわかること	66.9	26.6	6.2	0.3	35.2	53.8	10	1
話をしっかりときくこと	71	23.8	4.5	0.7	36.2	52.4	10	1.4
相手にわかるように話すこと	67.2	28.3	3.1	1.4	38.6	45.9	13.1	2.4
自分の思いや考えを書くこと	66.6	27.2	4.5	1.7	43.8	40.7	12.4	3.1
毎日、家庭学習をすること	65.2	25.2	6.6	3.1	40.7	32.1	21	6.2
毎日、家で読書をする	45.2	33.8	12.8	8.3	29.7	28.3	19	23.1
楽しく学校に通うこと	78.3	17.2	3.4	1	55.5	29.7	11.7	3.1
友だちとなかよくし、力を合わせる	78.6	16.2	4.5	0.7	50	40.7	7.9	1.4
友だちやまわりの人々を大切にすること	83.1	13.8	2.8	0.3	56.9	36.9	5.2	1
進んであいさつをすること	76.2	19.3	3.4	1	43.8	34.5	17.9	3.8
場に応じた言葉づかいをすること	74.8	19	5.5	0.7	39.7	43.8	15.5	1
学校や学級のきまりを守ること	74.5	21	3.8	0.7	45.5	43.4	9.7	1.4
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの生活リズムを付けること	77.2	17.9	4.5	0.3	40	41.7	15.2	3.1
運動に親しみ、健康な体をつくること	82.4	14.8	1.4	1.4	55.2	32.8	9.3	2.8
食の楽しさを味わい、進んで食べること	75.2	20.3	4.1	0.3	54.5	32.1	11	2.4
危険から身を守り、安全に生活すること	85.2	12.1	2.4	0.3	66.9	29	3.8	0.3
こまったことがあったとき、家の人や先生にそうだんすること	74.8	19.3	3.1	2.8	45.9	34.1	15.2	4.8
学校をきれいにするために、そうじすること	77.2	19.7	3.1	0	53.1	38.3	7.2	1.4
学校・PTA・地域の行事に参加すること	51	33.4	11	4.5	34.5	35.5	19	11

※数値は%

【今年度より追加した新しい質問項目】

【7年度より追加した新しい質問項目】

携帯電話、スマートフォンやタブレット端末を持っていますか。	もっている	もっていないし、 これから もつ予定はない	もっていないが、 もつ予定がある	
	172	56	62	
携帯電話、スマートフォンやタブレット端末の危険性について家の人と話をしていますか。	よくしている	時々している	していない	
	64	134	92	
携帯電話、スマートフォンやタブレット端末の使い方についてどう考えていますか。 ※まだもっていない人も、これからもつかもつかないということを想定して答えてください。	とても心配である	やや心配である	心配はない	わからない
	48	89	72	81

【保護者】

質問項目	重要度				実現度			
	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	実現できている	ややできていない	実現できていない	わからない
基礎的な学習内容を理解すること	91.4	8.6	0	0	34.3	53.3	10.5	1.9
話をしっかりと聞くこと	93.3	5.7	1	0	26.7	54.3	16.2	2.9
相手に分かるように話すこと	89.5	9.5	0	1	16.2	61	21	1.9
自分の思いや考えを書くこと	85.7	12.4	1	1	15.2	61.9	20	2.9
家庭学習の習慣を身に付けること	81.9	16.2	1	1	31.4	53.3	14.3	1
読書の習慣を身に付けること	75.2	21.9	1.9	1	27.6	31.4	40	1
楽しく学校に通うこと	88.6	11.4	0	0	47.6	42.9	6.7	2.9
なかよく協力し合って学校生活を送ること	81.9	18.1	0	0	43.8	44.8	7.6	3.8
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと	88.6	10.5	1	0	44.8	44.8	7.6	2.9
進んであいさつをすること	91.4	8.6	0	0	21	42.9	29.5	6.7
場に応じた言葉づかいをすること	84.8	15.2	0	0	17.1	53.3	22.9	6.7
ルールを守り、マナーを身に付けること	89.5	10.5	0	0	29.5	54.3	12.4	3.8
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの習慣を付けること	88.6	11.4	0	0	41.9	45.7	12.4	0
運動に親しみ、運動能力を向上させること	81.9	18.1	0	0	32.4	47.6	17.1	2.9
食の楽しさを味わい、進んで食べること	83.8	15.2	1	0	41.9	47.6	8.6	1.9
危険から身を守り、安全に生活すること	98.1	1.9	0	0	49.5	47.6	1	1.9
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知ること	76.2	23.8	0	0	38.1	52.4	7.6	1.9
教職員に気軽に相談できること	79	20	1	0	37.1	45.7	12.4	4.8
教室・廊下等の環境が整備されていること	74.3	24.8	1	0	21	49.5	13.3	16.2
子どもに学校の様子を聞くこと	86.7	13.3	0	0	41.9	47.6	8.6	1.9
学校・PTA・地域の行事に参加すること	39	49.5	10.5	1	10.5	52.4	31.4	5.7
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	67.6	31.4	1	0	23.8	59	6.7	10.5

※数値は%

質問項目	持たせている	持たせていない (今後持たせる 予定もない)	持たせていない (現在検討中)	
お子様に携帯電話やタブレット端末を持たせていますか。	39	37	29	
携帯電話、スマートフォンやタブレット端末の危険性について家庭で話題にしていますか。	よくしている	時々している	していない	
	44	55	6	
お子様が携帯電話、スマートフォンやタブレット端末の個人的な使用についてどうお考えですか。 ※お子様に持たせていない保護者の方も、今後持たせることになるかもしれないということを想定してご回答ください。	とても心配である	やや心配である	心配はない	わからない
	63	39	3	0

【教職員】

質問項目	重要度				実現度			
	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	実現できている	ややできていない	実現できていない	わからない
基礎的な学習内容を理解する力を付けること	100	0	0	0	11.1	83.3	5.6	0
話をしっかりと聞く力を付けること	94.4	5.6	0	0	11.1	66.7	22.2	0
相手に分かるように話す力を付けること	88.9	11.1	0	0	11.1	66.7	22.2	0
自分の思いや考えを書く力を付けること	88.9	11.1	0	0	5.6	77.8	16.7	0
家庭学習の習慣を身に付けること	83.3	16.7	0	0	11.1	72.2	11.1	5.6
読書の習慣を身に付けること	83.3	16.7	0	0	0	66.7	33.3	0
楽しく学校に通っていること	94.4	5.6	0	0	44.4	50	5.6	0
なかよく協力し合って学校生活を送っていること	88.9	11.1	0	0	38.9	50	11.1	0
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっていること	88.9	11.1	0	0	22.2	72.2	5.6	0
進んであいさつをしていること	77.8	22.2	0	0	5.6	72.2	22.2	0
場に応じた言葉づかいをしていること	77.8	22.2	0	0	5.6	66.7	27.8	0
ルールを守り、マナーを身に付けていること	94.4	5.6	0	0	11.1	72.2	16.7	0
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの習慣を付けること	83.3	16.7	0	0	11.1	72.2	16.7	0
運動に親しませ、運動能力を向上させること	83.3	16.7	0	0	27.8	61.1	5.6	5.6
食の楽しさを味わい、進んで食べていること	83.3	16.7	0	0	27.8	61.1	11.1	0
危険から身を守り、安全に生活する力を付けること	94.4	5.6	0	0	27.8	66.7	5.6	0
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知らせること	66.7	33.3	0	0	55.6	38.9	5.6	0
子どもに関わるトラブルを家庭と密に連絡をとり、解決すること	88.9	11.1	0	0	50	44.4	5.6	0
教室・廊下等の環境を整備すること	94.4	5.6	0	0	50	50	0	0
家庭・地域と積極的に連携を図り、取組をすすめること	72.2	27.8	0	0	16.7	72.2	11.1	0
学校・PTA・地域の行事に参加すること	55.6	33.3	11.1	0	5.6	72.2	16.7	5.6
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	83.3	16.7	0	0	27.8	66.7	5.6	0

※数値は%

【地域】

質問項目	重要度				実現度			
	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	実現できている	ややできていない	実現できていない	わからない
学校が児童の学力向上に向け取り組むこと	71.4	28.6	0	0	42.9	57.1	0	0
子どもたちが、相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと	85.7	14.3	0	0	28.6	57.1	14.3	0
子どもたちが、進んであいさつをすること	71.4	28.6	0	0	28.6	28.6	42.9	0
子どもたちが、場に応じた言葉づかいをすること	71.4	28.6	0	0	28.6	42.9	28.6	0
子どもたちが、ルールを守り、マナーを身に付けること	71.4	28.6	0	0	28.6	57.1	14.3	0
子どもたちが、運動に親しみ、運動能力を向上させること	42.9	57.1	0	0	42.9	14.3	42.9	0
子どもたちが、危険から身を守り、安全に生活すること	85.7	14.3	0	0	28.6	42.9	14.3	14.3
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知ること	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3
教職員に気軽に相談できること	71.4	28.6	0	0	42.9	14.3	42.9	0
学校の教育環境が整備されていること	71.4	28.6	0	0	28.6	42.9	28.6	0
学校・PTA・地域の行事に参加すること	42.9	57.1	0	0	28.6	28.6	42.9	0
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	85.7	14.3	0	0	28.6	28.6	42.9	0

※数値は%



全体の傾向

今年度の学校評価アンケートも昨年度と同様に、「重要度」と「実現度」2つの項目で実施しました。そうすることにより、より具体的に、本校の実態に即した結果の分析をすることができました。

全体を通して、「重要度」と「実現度」に開きが見られる項目がたくさんありました。顕著に表れている結果を基にして、本校の課題を見出し、これからの教育活動に活かしていきたいと思えます。

項目別に注目してみると、「楽しく学校に通うこと」が今年度も児童、保護者、教職員共に高い重要度、実現度でした。また、「ともだちとなかよくし、力を合わせることも同じく高い重要度、実現度でした。このことから、子どもたちは楽しく学校生活を送ることができていることが分かります。これも、各ご家庭で保護者の皆様が、お子様の体調管理はもとより、励ましの声を絶えずかけてくださり、温かく見守っていただいたおかげだと実感しております。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

児童の結果

児童の結果では、概ね高い実現度でした。特に、「友だちとなかよくし、力を合わせることも」、「友だちやまわりの人たちを大切にすること」といった友だちとの関わりに関する項目の実現度が高くなっています。9月は、伏見住吉小学校の人権月間です。今年のテーマは「友だちを大切にすることってどういうこと？」です。児童は、友だちを大切にすることを通して、学校や家庭の中で人権感覚をより高めてくれたのではないかと考えています。ここ数年間でも高い実現度で推移しており、児童は、学年が変わり環境が変わっても、学習や生活に前向きに取り組んでいることが分かります。

また、「危険から身を守り、安全に生活すること」の項目では、重要度、実現度ともに高くなっています。学校では、様々なケースを想定した避難訓練や普段の生活における安全面に対しての児童への声掛け（特に今年度は猛暑であったため水分補給や運動制限等）がこの結果に繋がったのではないかと考えています。保護者や地域の方にも普段から児童を安全に見守っていただいたり、声を掛けていただいたりありがとうございます。特に、登下校中に「見守りたい」として児童の安全を確保していただき感謝しております。

一方、「毎日、家で読書すること」の実現度が昨年度までと同様、他の項目に比べて低くなっています。学校では、これまでと同様に、朝読書の時間や国語科を中心とした各教科の単元での並行読書等を行っており、少なからず一日の生活の中で、本と向き合う時間があります。これからも読書週間や各教科における積極的な図書館活用を通して、読書がもっと素晴らしいことを伝え、「学校でも家庭でも、本と向き合う時間がもてる子ども」を育てていくとともに、「子どもが読書に向かいなくなる」ような新たな取組を進めていきたいと考えています。

また、「進んであいさつをすること」の実現度が、令和6年度の後期学校評価に比べて低くなっています。地域の方のアンケートの自由記述でもご指摘がありました。あいさつについての意義を伝えるとともに、まずは大人から気持ちの良い挨拶をするように心がけていきたいと思えます。

保護者の結果

高い実現度となった項目は、「楽しく学校に通うこと」、次いで、「なかよく協力し合って学校生活を送ること」、「相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと」でした。これは、昨年度と同じ結果となりました。昨年度から引き続き、ご家庭で児童の学習や生活を心から支えてくださったおかげであり、各家庭でのご協力があってのことであると改めて実感しております。ありがとうございます。

一方、重要度と実現度に大きな開きが見られた項目としては、「基礎的な学習内容を理解すること」「話をしっかりと聞くこと」「相手に分かるように話すこと」「自分の思いや考えを書くこと」です。どの項目も、密接に学習と結びついている項目になります。特に、「書く」ことに対してのスキルを身に付けてもらう必要があると感じています。普段の授業や宿題等を工夫しながら改善していきたいと思えます。そして児童と同様、「読書」の項目でも大きな開きが見られています。読書の時間をどのように確保していくのか、伏見住吉小学校の大きな課題の一つです。

また、実現度で低かった項目は、「運動に親しみ、運動能力を向上させること」、「学校・PTA・地域の行事に参加すること」、「場に応じた言葉遣いをする」ことです。この3つの項目に関しては、11月に「第16回住吉こども110番の家ウォークラリー」や学校運営協議会（体を育てる委員会）主催の「グラウンドゴルフ」があります。今年度は、授業時間内に行う予定になっています。そうすることで、より多くの子どもたちが参加できるようになります。子どもたちが地域の方と学ぶ機会を大切に、大人をモデルとして社会でのルールやマナー、相手を理解して支え合う態度を身に付けて欲しいと思えます。

地域の結果

昨年度に引き続き、今回も高い評価項目は、「学校便り・ホームページ等で情報を発信すること」でした。学校便りやホームページを通じて学校の様子を少しでも知っていただくこと、取組を継続してきたことが評価されています。

実現度の低い項目は、「子どもたちが、進んであいさつすること」、「子どもたちが、場に応じた言葉づかいをすること」です。場に応じた言葉づかいに関しては、児童は周りの友だちや大人の影響を受けます。つまり、教職員や保護者といった身近な大人がよい手本となる必要があります。また、児童の中で気になる言葉づかいがあれば適切に指導することも大切です。それらのことを常に意識しながら指導にあたっていきたいと考えています。また、「学校の教育環境が整備されていること」に関しても、安全面を考慮しながら、児童の教育活動がより良いものになるように整備していきたいと思えます。

教職員の結果

今年度も「楽しく学校に通っていること」、「なかよく協力し合って学校生活を送っていること」が高い実現度となりました。子どもたちが楽しく学校に通うことができるように教職員一同、様々な面で工夫して取り組んでいます。その成果が実現度に表れており、また、何かあったときにはすぐに担任や学校が家庭と連絡を取り合い解決することを意識しています。そして、学校全体で情報を共有し、次の指導に役立てています。「子どもに関わるトラブルを家庭と密に連絡をとり、解決すること」の項目の高い重要度、実現度を今後も維持していきたいと思えます。本校の目指す子ども像にもあるように「明るく楽しく元気に学校生活を送れる」ことができていると評価をしています。

また、保護者のアンケート同様に、重要度と実現度に大きな開きがあった項目は、「基礎的な学習内容を理解する力を付けること」を中心とした、学習面に関する項目です。今後も、児童が「やってみよう」と思えるような分かりやすい授業と主体的・対話的で深い学びの実現を目標に、さらなる授業改善を図るとともに、基礎的・基本的な学力の定着と教科における学びの連続性を意識した、主体的な授業の構築を目指してまいります。

第2回の評価の際には、1年間を通してどうであったかをふり振り返り、確実に成果が挙げられるように、教職員一同これからも努力していきます。



今後の課題について



確かな学力

今年度は、校内研究のテーマを『主体的に学び続ける子の育成～やってみたい!と思える授業づくり～』と設定し、子どもたちに付けたい資質・能力を「主体性」、「コミュニケーション力」として、日々の授業を実践し、自ら学び、共に高め合う学習に向かう児童の育成を目指しています。今後は、学力の定着をはかる指標として令和7年度全国学力・学習状況調査やジョイントプログラムの結果を分析し、児童の実態をより細かく把握し、聞く、話す、書くといった個々に応じた学力の定着を目指して取り組んでいきたいと考えています。

また、例年、読書習慣の実現度が他の項目に比べ低くなっているという課題があります。学校でも、子どもが読書に向かいとなるような取組を計画していきます。ご家庭でもお声かけやサポートがいただけましたら幸いです。

豊かな心

児童、保護者、教職員共に「楽しく学校に通うこと」や「なかよく協力し合って学校生活を送ること」に関して高い評価となっています。しかし、「言葉づかい」、「あいさつ」に関しては、やや実現度が低くなっています。今後も大人が手本となるような姿を見せること、授業でスキルを身に付けること、人権学習や道徳教育に取り組むことで児童の意識を高められるようにしていきたいと考えています。また、いじめに関するアンケートやクラスマネジメントシート、個々の教育相談などを継続して行うことで、一人一人の児童に寄り添い、子どもたちが安心して自分の力を最大限に発揮できるような学校生活となるように努力して参ります。

健やかな体

「危険から身を守り安全に生活する」項目に関しては、11月に住吉安心・安全まちづくり協議会主催の「住吉子ども110番のいえウォークラリー」を行い、校区にある「住吉子ども110番のいえ」を知り、交流を深めるとともに、助けを求める練習をする予定である。また、避難訓練の時に、消防署の方に訓練の様子を見せていただいたり、体験をさせていただいたりしています。

これからも、保護者・地域・学校が協力して子どもの安全意識をより高められるよう、よろしくお願いいたします。

記述欄より

「保護者の方々には、「ご家庭で効果的であった取組」について尋ねました。」

- ・時代は変わっていくので、昔になかったタブレットで学べる事もあると思う。
- ・ネットで危険ばかりに注視しすぎるのは、「事故をするかもしれないから車に乗るな。」というのと同じと考える。
- ・興味を引くことは、当人にとって楽しい事、やってみたい事から発生すると考える。各家庭でのネットを使うルールと起こり得る危険をキチンと伝える事を親や教師側が怠らないようにするべきだと思う。
- ・雨の日の登校時の廊下使用についても、暗黙の了解で進められている。この件について先月はじめに確認した際お知らせとして各家庭に周知します。と回答があったがそれから一向に無い。
- ・教師が約束を履行しない事に如何なものか。と。まずは大人が率先すべきではないかと考える。
- ・母親がちゃんと起きて朝ごはんを作る。
- ・アラームを一定期間あけて鳴らし、時間を意識させる。
- ・できる限り早く寝る。
- ・一緒に資格試験の勉強をして一緒に受けに行った。
- ・学校で習ったことで家でもやりたがることがあればなるべくやらせるようにしている。
- ・仕事、お金、税金など子どもが知りたがれば教えるようにしている。
- ・学年別に、オスズメの本を保護者と子どもが投稿できる場があれば(すぐる等で)、読書量アップにつながりそうです。当方は、1年生の頃から、読んだ本の題名をノートに記録しています。
- ・タブレットやPCは、使用時間を親が管理しないと、寝る間も惜しんでゲームや動画視聴にのめり込んでしまうので、親が管理することが必須です。

